

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	肺癌術後リハビリ不全の早期同定に向けた炎症免疫栄養指標の軌跡解析： 周術期と予後の関連に関する研究		
1. 研究の目的と方法	【目的】肺がん手術後の患者さんの血液データ（炎症・免疫・栄養の指標）が、時間の経過とともにどのように変化するかを詳しく分析します。これにより、手術後の回復が順調でないパターンを早期に見つけ出し、手術の合併症や生存期間との関連を明らかにすることを目的としています。 【方法】過去に当科で手術を受けた患者さんの電子カルテから、年齢、病気の状態、手術内容、および術前・術後の定期的な血液検査結果（白血球、CRP、アルブミンなど）を収集します。これらのデータから統計的手法（クラスター分析）を用いてグループ分けし、回復のパターンと予後の関係を解析します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2029年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2015年1月1日から2024年12月31日までに、東京慈恵会医科大学附属病院（本院）外科学講座で根治的肺切除術を施行された20歳以上の非小細胞肺癌の患者さん。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	病理診断（病期、組織型）、性別、年齢、身体所見（身長、体重、喫煙歴）、併存疾患、検査結果（血液検査データ、肺機能検査、画像検査、腫瘍マーカー）、手術情報（術式、アプローチ、手術時間、出血量）、術後経過（合併症、ドレーン留置期間、在院日数、再発の有無、生存状況）。	
	(4) 情報の取得の方法	通常の診療録（電子カルテ）から、本研究に必要なデータを抽出・収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 外科学講座
		氏名	塚本 遥
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

	施設とその責任者
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026年5月頃～
<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学附属病院 外科学講座 研究責任者：助教 塚本 遥（つかもと よう） 窓口担当者：助教 塚本 遥（つかもと よう） 電話番号：03-3433-1111（内線 3401） 対応時間：平日 9:00 ～ 17:00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。